

# 愛媛県同窓会 学術講演会

解りやすい講演であつという間の1時間30分

佐々木 誠 (23期)

**平** 成22年11月6日(土)15時30分  
から17時まで、愛媛県歯科医師会松山支部ホールにて愛媛県同窓会学術講演会が開催されました。

講師に福岡歯科大学咬合修復学講座有床義歯学分野講師の都築尊先生をお招きして、福岡歯科大学補綴科における義歯臨床への取り組みという演題で講演されました。

参加者は福岡歯科大学卒業生16名で和やかな雰囲気が始まりました。講演冒頭では現在の福岡歯科大学や周辺の写真を写されて自分達が学生の時代とは異なる景色、環境に時の流れを感じました。義歯臨床は普段の診療で避けては通れない分野。愛媛という高齢化のやや進んだ地域では尚更。義歯作成の難易度を残存歯の部位、本数によってアカデミック



クに分析される内容は大学や臨床で学んだ知識をより深く広く推し進めた内容で明日からの臨床に繋がるものでした。また義歯を作成するにあたり難症例にしないために残存歯のケアが大切であるということも臨床において大切な視点であるとの言葉が重く響きました。解りやすい講演であつという間の1時間30分でした。



その後会場を移し、窪田将臣愛媛県同窓会会長の挨拶から懇親会が行われました。1期生から27期生の同窓が交流をさらに深める事の出来た時間でした。来年は福岡歯科大学愛媛県同窓会創立20周年を迎えます。ますますの発展、繁栄を目指し努力する事を誓い、会を終りました。都築先生におかれましては公務多忙の中、愛媛県まで足を運び頂き感謝申し上げます。

## 卒業生 NOW

### 「挑戦」

岡 沙代子 (31期)

みなさんこんにちは。31期生の岡 沙代子です。私は2010年3月に福岡歯科大学医科歯科総合病院歯周病科および開業歯科医院にて初期研修修了後、2010年4月より後期研修医として、島根大学医学部附属病院歯科口腔外科学講座に入局しました。



私が所属している島根大学歯科口腔外科学講座は、現在関連病院出身医師を含め、約60名の医局員が所属しております。医学部附属病院歯科口腔外科としては、大規模な講座です。当科教授である関根浄治先生は、母校の11期生ですが、私が学生の頃に歯科英語の授業で使っていた教科書「Understanding Dentistry」の編集者なのです。また、学生時代に論文作成をされるなど、常に先を見据えた素晴らしい先生です。

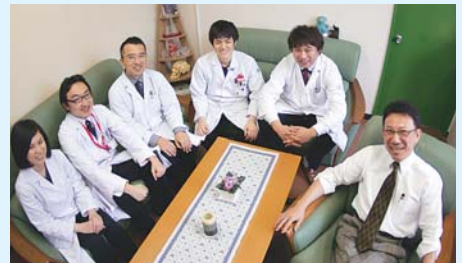
島根に来て1年経とうとしていますが、他の大学病院では経験できない救急研修・世界標準の診療を行なう開業歯科医院での研修をさせて頂き、

全身管理に重点を置きつつも、口腔領域の治療を行なう重要性を身をもって学びました。

また、講座で年2回開催されるCAIによる接遇セミナーを受講し、患者さんに敬意を持って接することの大切さを改めて実感しました。

現在当科の福岡歯科大学卒業生は、関根浄治教授をはじめ7名です。本年4月入局予定の2名を加え9名となり、ますます医局が活気づきます。また、私も来年度より歯科医師3年目(口腔外科医2年目)を迎えます。まだまだ未熟ですが、現在の私の目標は、再来年度に口腔外科専修医の資格を取得することです。そのため、日々臨床および研究に励んでおります。1日も早く一人前の口腔外科医になれるよう、一生懸命頑張ります。

母校の福岡歯科大学に負けないよう、関根浄治教授を筆頭に、島根から世界へと羽ばたきます。



関根浄治教授 右前 ほか、福岡歯科大学出身医局員の皆さん

## 同窓生からの手紙

### 大分県歯科医師会会長に長尾博通先生(1期生)決定

上田 源 (5期)

同窓会会員の皆様には於かれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、我が大分県同窓会から嬉しいご報告がございます。1期生の長尾博通先生が大分県歯科医師会会長に決定いたしました。

長尾博通先生は初代大分県同窓会会長として県内での福岡歯科大学同窓会の存在を高められ、また県歯会に於いても社保担当理事、専務理事としてご活躍されました。

満を持して昨年11月に会長立候補の意志を表明され、同窓会会員に限らず多数の大分県歯科医師会会員からの絶大な信頼のもと、会員を割る選挙をする事無く、無投票で今年1月次期会長に決定されました。

公約として①会員の為の会を心掛ける②公益法人改革の遂行③大分県歯科条例の制定④障がい者歯科医療の環境整備 以上を挙げております。

佐賀県歯科医師会の寺尾隆治会長も4期目を迎えられ、今後お二人で九州歯科界を盛り上げ、より良き歯科医師会を築き上げて頂けるよう、同窓生一同の結束を固くして協力させて頂こうと考えております。



大分県歯科医師会会長に決定した長尾博通先生